

# 大分県 ツーリズム戦略の概要

「日本一のおんせん県おいた」をキーワードに官民挙げて戦略を推進！



元気で活気あふれる大分県

## 戦略の趣旨

### 1 策定の経緯等

#### ツーリズムを取り巻く環境の変化

- (1) 質的・量的なニーズの変化  
 ・着地型・体験型の観光など多様化するニーズ

- ・65歳を迎えた団塊世代を中心とした新たな観光需要拡大
- ・東アジア地域からの観光客増
- ・九州新幹線全線開業、航空路線の拡充、グローバル化の進展

大きなチャンス到来

- (2) 総合産業としてのツーリズムへの期待  
 五感で楽しむ、すなわち第1次産業から第3次産業まで取り込んだ産業として魅力が増すツーリズムの推進

- (3) 旅行情報に対するアクセス手法の変化と多様化の進展

ツーリズムを着実に進展させる総合的、効果的な取組が必要

ツーリズム戦略を策定し、地域振興と観光振興を一体的に進め、行政や観光協会、旅館ホテル組合、観光事業者、NPO法人等が協働で活力ある大分県づくりを目指す

### 2 戦略の位置づけ

「安心・活力・発展プラン2005」の行動戦略  
 平成25年度～27年度(3年間)の方向性を示す

### 大分県の現状

#### 1 県内における観光旅行の傾向

- (1) 平成22年度 観光入込客数 1,800万人  
 県内宿泊客数 504万人  
 うち外国人宿泊客数 36万人  
 グリーンツーリズム宿泊数 1.9万人

- (2) 大分県への訪問理由＝①温泉②自然③名所・旧跡④食

#### (3) 主な発地

- 国内＝①福岡県 ②その他九州 ③首都圏 ④中・四国  
 ⑤関西圏  
 海外＝①韓国 ②台湾 ③中国

#### 2 大分県観光の強みと弱み

〈強み〉豊かな天然自然、素晴らしい食材、おいしい水、日本一の湧出量(291,340L/分)と源泉数(大分県4,538 / 全国27,671孔)を誇る温泉ホスピタリティの高い宿

〈弱み〉新幹線、高速道路が未整備である魅力ある着地型の地域観光商品が不足情報発信の不足

#### 3 観光消費がもたらす経済効果

- 平成22年旅行者 観光客の総消費額 1,730億円  
 経済波及効果 2,419億円  
 雇用 29,131人

## 戦略1 地域の観光素材磨き

県内各地に広がる温泉の良さを再認識し、全国・世界にアピールするとともに、地域の自然や食、歴史、伝統文化などの資源を磨き、マーケットの求める魅力ある観光商品や観光地づくりを推進

### (1) 魅力ある商品づくり

- ①日本一の温泉を活用した特色ある観光地づくり ・温泉の効能を活かした地獄蒸し料理や化粧水など様々な利活用、温泉熱を利用した発電など新たな観光資源の活用
- ②地域素材に磨きかけた観光商品づくり ・地域観光協会等や住民との協働による地域観光素材の掘り起こしや、ジオパークなど自然遺産を活用した新たな商品づくりを促進
- ③食の発掘と質的向上 ・食観光の主流となるこだわり料理の発掘や郷土料理の磨き、旬の食材による「おいたの食」のバリエーション向上と情報発信などを推進
- ④文化を絡めた観光商品づくり ・文化財、伝統行事をはじめ、別府アルゲリッチ音楽祭、県立美術館など文化や音楽、アートを活用した来訪者が憧れ、心ときめかせる商品づくり
- ⑤地域間連携による取組 ・豊の国千年ロマン観光圏などストーリー性や話題性のある広域観光商品づくりの支援

### (2) 旅行目的に応じた心あたたまるとおもてなしの提供

- ・おもてなしの研修会やボランティアガイドの育成を通じたサービスの質的向上を推進
- ・観光客のニーズに合ったおもてなしの提供
- ・地域ぐるみの歓迎態勢づくり、外国人観光客への日本文化や旅のマナーなどに関する情報提供
- ・MICE受入に関するコーディネーターの配置など受入態勢の整備

### (3) 地域間をつなぐ二次交通の整備

- ・観光客の行動拡大のための路線バス、観光周遊バス、観光タクシーなどの活用促進

## 戦略2 誘客

### (1) 国内誘客

- ①圏域別 それぞれの圏域のニーズを的確に捉えるとともに、女性や知的好奇心の高いアクティブシニア(団塊の世代)をメインターゲットとした誘客を推進
- 1) 福岡圏 → 着地型観光の誘客を重点的に推進  
 ・旬の素材を活かした体験型の観光商品づくり、観光プロモーションの展開  
 ・マスコミ等への旬な情報提供、大分を応援するサポーター等を活用した誘客促進  
 ・グリーンツーリズムの新プログラム開発による一般客の誘客促進
  - 2) 関西圏 → 陸・海・空のアクセスの強みを活かした商品による誘客の促進  
 ・別府、湯布院のブランド強化と地域素材を活用した魅力的な商品づくり  
 ・商談会や招へいツアーの開催による旅行社等への商品づくりの促進  
 ・「おいたの食」を絡めた誘客促進  
 ・交通事業者と連携した商品づくりなどによる誘客促進(鉄道、フェリー、航空機)
  - 3) 首都圏 → 上質で多様な本県観光資源を売り込む有望マーケットとして、文化や芸術など上質な情報発信と連動した誘客を強化  
 ・知名度アップのためマスコミ等招へいツアーによる情報発信を推進  
 ・全庁的な情報収集に基づくビジネス観光とMICEを活用した誘客の促進  
 ・別府、湯布院のブランド強化と歴史、文化等本物志向の誘客促進

### ② 全国規模の誘客 全国規模で展開されるキャンペーン等の活用

- 平成27年JRグループ「デスティネーションキャンペーン」の誘致を促進

### ③ 県内に向けて 県民こそが訪れたい魅力ある地域づくりを推進

### (2) 海外誘客

航空路線が整備されている韓国や、規制緩和が進む中国上海地区・香港、台湾など主要都市を重点的に誘客活動を展開

#### 【国別】

- ①韓国 → 高級素材を活用した魅力ある観光商品づくりによる富裕層の誘客促進  
 ・九州オムレや登山など特定目的の誘客促進  
 ・親孝行旅行や週末2日制導入による週末の家族旅行ニーズへの対応
- ②中国 → 上海エリアや湖北省を重点地域として誘客を推進  
 ・知名度向上のため、メディアの活用や広域観光商品づくりの促進  
 ・上海や湖北省との観光交流や留学生等の人的ネットワークを活用した誘客
- ③香港 → 県産品などビジネス交流と連動した観光PRの強化
- ④台湾 → 誘客体制の整備と観光プロモーションなどによる情報発信

#### 【受入態勢整備】

- ①国際クルーズ船の誘致 ②福岡空港などを活用した観光ルートの整備
- ③国際チャーター航空便の誘致 ④多言語化の環境整備

### (3) 団体誘客

- ①教育旅行 → グリーンツーリズム、ブルーツーリズム、環境学習等の魅力あるプログラムを作り、広島、関西方面の中学校を中心に誘致を推進  
 中国・韓国からの訪日教育旅行についても積極的に誘致  
 → 安全安心の受入態勢確立と教育効果の高い学びの場の提供
- ②MICE → 行政や関係団体の情報収集態勢を整備し、全国大会、スポーツ合宿等多分野への誘致活動を展開

## 戦略3 情報発信

### 大分県観光の素晴らしさを的確に伝える効果的な情報発信の強化

#### (1) 関係機関が一体となった情報発信

- ①大分県をイメージするキーワードを旗印にPR展開
- ②各地の物産展等で官民一丸となった「チームおいた」としての観光PRの展開
- ③旅行会社等に対する招へいツアーと商談会を合わせて実施するなど効果的なPRを実施

#### (2) あらゆる媒体を活用した情報発信

- ①旅行情報サイトなどインターネットを通じた個人向け情報の発信
- ②マスコミ、観光関係誌からの取材協力要請に積極的に対応
- ③アクティブシニアの旅行増加に注目した的確な情報発信
- ④鉄道、フェリー、航空事業者等と連携した情報発信

#### (3) 県外事務所・海外事務所等を通じた情報発信

- ①県外事務所と地域観光協会との連携強化
- ②上海事務所を通じた情報発信
- ③坐来大分を活用した情報発信

#### (4) 大規模イベント等を活用した情報発信

- ・オートボリス、トリニータの試合など全国から観客が訪れる会場等において関係機関と協働で県観光をPR

## 戦略4 広域観光

### 海外や首都圏からの九州広域エリア周遊観光のニーズに対応した誘客態勢を整備

- ・福岡県、長崎県、熊本県、宮崎県との広域観光商品開発や情報共有
- ・九州観光推進機構などとの商談会やプロモーションの共同実施
- ・県内における地域間連携の観光プロジェクトなどの取組を支援

## 戦略5 戦略ある現場主義の推進

### 現場主義を徹底し、観光情報の収集と共有、観光関係者の連携強化などにより、状況の変化にも適切に対応できる体制を確立

#### (1) 人材の育成とネットワークづくり

- ・ツーリズム大学等を通じた観光を支えるリーダーの育成、行政と地域リーダーとの連携強化、ネットワークの共有などによる積極的な事業推進
- ・行政機関における現場主義の徹底と観光に精通した人材の育成

#### (2) 地域観光協会の活性化と相互の連携強化

- ・全体的な底上げと連携強化、住民との協働による現場主義の徹底

#### (3) 大分県ツーリズム戦略推進協議会(仮称)の設置

- ・実効性のある事業展開と本戦略の進捗状況の管理

#### (4) ツーリズムおいたの機能強化

- ・県内観光のリーダーとして観光事業の企画・推進ができる態勢づくり

本県ツーリズムの本旨

地域が輝き

人が訪れ

さらに地域が元気になる

【目標】(平成27年度)

観光入込客数	1,900万人
県内宿泊客数	520万人
うち外国人宿泊客数	39万人
グリーンツーリズム宿泊数	2.4万人

